

JAB プラットフォーム 設立趣意書

成熟社会を迎えた我が国では、持続可能な社会を求める価値観のパラダイムシフトが起きています。新型コロナ感染、気候変動に伴う自然災害の頻発・激甚化、人口減少・少子高齢化に伴う様々な課題への対応は、急務となっています。

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」をはじめ、持続可能な未来を達成するための様々な取り組みが進む中、認定、標準化、計量を行うインフラストラクチャーである公益財団法人日本適合性認定協会は、国際標準を賢く利用する適合性評価の取組、技術的な知識と能力の提供を通じ、次世代を見据えた社会資本、社会的価値があり経済的価値をとまなう、持続可能で魅力ある国・都市・地域、企業づくりをサポートすることが重要だと考えます。

認定や適合性評価活動が、持続可能な未来の実現に貢献するインフラストラクチャーとしてのサポート機能を十分に発揮するためには、その機能、仕組み、サービスが、環境・社会・ガバナンスの分野でどのように活用・応用できうるのかについて幅広く意見交換、情報交換、議論するための場（プラットフォーム）の創設が有効と考えます。

こうした認識のもと、本協会は、9年間にわたる「MS・JAB シンポジウム」における品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムの普及啓発活動を基に、「JAB プラットフォーム」を創設することとしました。国、地方公共団体、民間企業、大学、研究機関、試験所、適合性評価機関をはじめ、多くの皆さまのご賛同、ご参加をお願い申し上げます。

2021年11月
(公財) 日本適合性認定協会